



# 鳥取大学附属中学校 平成29年度研究発表大会ご案内(2次案内)

【鳥取大学附属学校4校園共通テーマ】「いま伸びする力」と「あと伸びする力」を育てる

## 【主題】

自立し、つながり、探究し、  
創造する力の育成(3年次)

## 【副題】

やりくり  
たとえは



「やりくり」とは、制約の中で問題を解決していくこと。

混沌とした現代社会。様々な制約の中で生き抜く力が必要とされています。

そんな力を育む「やりくり」活動の実践例をつくっています。

## 講演

一人ひとりの

「深い学び(deep learning)」を  
支援する教師と学校

～「やりくり」の力を高める

教育の意義～

## 藤村宣之 先生

東京大学教育学研究科教授  
教育心理学・発達心理学

開催日：2017年7月7日金曜日

場所：鳥取大学附属中学校

「未知なる問題に立ち向かう力」、「社会の主体者として生きる力」、このような力が必要とされています。それは、受け身で価値を享受するのではなく、自ら新たな価値を創り出そうとする生き方を目指す力でもあります。そんな力を育むためには、あらゆる場面で、生徒に試行錯誤させる必要性を感じました。そのキーワードが「やりくり」です。新たに情報を与えられるのではなく、手持ちの情報で問題を解決する。ただ問題を解くのではなく、そもそも問題がどこにあるのかを見抜く。必要と思っていたものが本当に必要か考える。そのような営みの具体例を、学校現場の中に見いだしていこうと考えました。そこにはきっと、教育を読み解くヒントが隠されているのではないのでしょうか。生徒や教師の「やりくり」から、学校の新たな可能性を探る。そんな研究に取り組んでいます。どうぞお越しください。

8:00	8:30	9:00	9:50	10:05	10:55	11:10	12:40	13:40	14:30	16:00	16:10	17:00
受講者 受付	一般 受付 受講者 オリ	公開授業1	移動	公開授業2	移動	研究協議会	昼食	全体会	講演会 藤村宣之先生	閉会 行事	受講者 修了認 定試験	

「教員免許更新講習」の受講者は、受講者の日程で受付、オリエンテーション、修了試験を行いますので、受付時間、終了時間等が一般参加の方と異なります。また、終了時間は全体会・講演会の内容により変更されます。



## 公開授業1 9:00~9:50

教科	学年	授業タイトル	授業者
国語	3	大人って何? ～登場人物の多面性を手がかりに～	藤原 一恵
社会	1	地元の資源を授業でどう取り上げるか ～日本一の湖山池と社会科学習～	村山 明生
数学	2	図形から見出す ～多様な考え方とその広がり求めて～	中田 幸一
理科	1	科学的探究におけるデータ解釈	服部 和晃
音楽	1	日本の民謡の音楽の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう。	廣富恵美子
英語	3	伝える楽しさ、つながる喜び	石田 順



## 公開授業2 10:05~10:55

教科	学年	授業タイトル	授業者
国語	1	意見をひろってつなげよう ～聞くことを大切に～	上川 寛子
社会	3	身近な問題の合意形成 ～どうやって決めたらいいのか?～	梶川 昇
数学	1	美しい長方形はどんな長方形? ～数学的レイヤー論に基づく統計的問題解決の授業(1)～	山脇 雅也
理科	2	動物の体のつくりから考える	井殿加奈子
美術	1	作品との対話	木村信一郎
保体(女)	3	バレーボール ～知識をつなげ、ボールをつなげる～	吉田 有希
英語	2	会話を広げよう	竹川由紀子

## 研究協議会 11:10~12:40

教科	本校職員	共同研究者
国語	藤原 一恵 山根 英明 上川 寛子	小笠原 拓
社会	梶川 昇 福代 明 村山 明生	高橋 健司
数学	小出智栄子 中田 幸一 山脇 雅也	矢部 敏昭 溝口 達也
理科	森田美貴子 井殿加奈子 服部 和晃	高橋ちぐさ 泉 直志
音楽	廣富恵美子	鈴木慎一郎
美術	木村信一郎	武田 信吾
保健体育	安井 仁 吉田 有希	関 耕二
英語	石田 順 竹川由紀子	足立 和美
健康教育	山田由美子	谷中 久和

※健康教育に関しては、発表とミニ講演「健康教育に関するデータの効果的な活用方法～ライフスタイル自己点検～」を行います。



# 講演会 14:30~16:00

## 一人ひとりの 『深い学び(deep learning)』 を支援する教師と学校 ～「やりくり」の力を高める教育の意義～

東京大学大学院 教育学研究科  
学校教育高度化専攻

教育内容開発コース 教授  
藤村 宣之 先生



大阪府生まれ。京都大学教育学部卒業。京都大学大学院教育学研究科において博士(教育学)を取得。埼玉大学教育学部講師・助教授、名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授、東京大学大学院教育学研究科准教授を経て、現在、東京大学大学院教育学研究科教授。専門は、教育心理学、発達心理学。子どもの発達と学習の視点から、主に小学校・中学校・高校の教育のあり方を考えている。カーネギーメロン大学(アメリカ合衆国) 客員研究員、日本学術会議連携会員などを務めてきている。

### ご著書

- 『数学的・科学的リテラシーの心理学  
一子どもの学力はどう高まるかー』(単著,有斐閣,2012年)  
『児童の数学的概念の理解に関する発達の研究ー比例,  
内包量,乗除法概念の理解を中心にー』  
(単著,風間書房,1997年)  
『新しい時代の教育方法』 (共著,有斐閣,2012年)  
『発達心理学一周りの世界とかかわりながら  
人はいかに育つかー』(編著,ミネルヴァ書房,2009年)  
『学びとカリキュラム』 (分担執筆,岩波書店,2017年)  
『アクティブ・ラーニングの教育方法学的検討』  
(分担執筆,図書文化,2016年)  
『教育認知心理学の展望』  
(分担執筆,ナカニシヤ出版,2016年)  
『カリキュラム・イノベーションー新しい学びの創造へ向けてー』  
(分担執筆,東京大学出版会,2015年)  
『新訂 発達心理学特論』  
(分担執筆,放送大学教育振興会,2011年)  
『発達心理学概論』(分担執筆,放送大学教育振興会,2011年)  
『発達心理学I』 (分担執筆,東京大学出版会,2011年)  
『現代の認知心理学5 発達と学習』  
(分担執筆,北大路書房,2010年)  
他,多数。

藤村宣之先生は、「学校の現場で優れた実践がなされている。自分の仕事は、その実践が優れていることを認知心理学の知見とつなげ理論づけること、あるいは、そんな一つ一つの実践をつなぎ、さらに優れた実践へと導くお手伝いをすること」とおっしゃいます。これからの時代に必要となる力の観点から、その力を高める学習内容や学習方法の観点から、そして、一人ひとりの子どもの発達の観点から、本校で実践している「やりくり」の実践がどのような意味を持つのか、先生のお考えについて、お話しできます。みなさまが「学び」について深く考える機会としていただきたく、ご案内申し上げます。



## 会場のご案内

- ✦ JR山陰本線鳥取大学前駅から約1km(大学構内を歩いて徒歩約15分)
- ✦ 鳥取駅より鳥取大学附属校行バスで約30分、タクシーで約10分
- ✦ 鳥取空港よりタクシーで約5分
- ✦ 車でお越しの方は、本校の校庭に駐車してください。その際、正門を入らず、左に進み、湖山池沿いに100mほど進むと、右手に校庭入り口があります。そこからお入りください。



## 参加申し込みについて

- ★資料等準備の都合上、6月30日(金)までに、別紙申し込み書で郵送あるいはFAX、もしくはEメールでお申し込みください。(Eメールでお申し込みの場合は、本校ホームページ掲載の申し込み書をご利用いただくか、用紙に記入したものをPDF化して添付してください。)
- ★期日を過ぎました場合、申し込み用メールアドレス、または電話等でご相談ください。なお、当日受付もいたしますが、資料数や講演会の座席等に関して、ご希望に添えないことも予想されますので、ご了承ください。

## お問い合わせ先

〒680-0945 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学附属中学校 研究推進部

TEL 0857-31-5175 FAX 0857-31-5176

E-mail entry@ml.fuzoku.tottori-u.ac.jp(研究大会用)

HP <http://www.chu.fuzoku.tottori-u.ac.jp>



(本校HP教育研究に移動します)